

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：中国地方整備局都市・住宅整備課

担当室長名：石崎 隆弘

事業名	まつながこうほんごうせん 松永港本郷線		事業区分	街路	事業主体	広島県
起終点	自：広島県福山市松永町 至：広島県福山市今津町			延長	1.0 km	
事業概要	重要港湾尾道系崎港（松永湾）から国道2号を経て山陽自動車道福山西ICへアクセスする主要な幹線街路である。					
H6年度事業化	S31年度都市計画決定 (H7年度変更)	H9年度用地着手	H12年度工事着手			
全体事業費	80億円	事業進捗率	77.3%	供用済延長	0.3 km	
計画交通量	12,200台/日					
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) /87億円 (事業費：/86.2億円 維持管理費：/0.9億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) /150億円 (走行時間短縮便益：/132.6億円 走行費用減少便益：/16.9億円 交通事故減少便益：/0.0億円)	基準年 平成15年		
事業の効果等	円滑なモビリティの確保（現道等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上での踏切道の交通改善が期待される。） 物流効率化の支援（重要港湾へのアクセス向上が見込まれる。）他10項目に該当。					
関係する地方公共団体等の意見	慢性的な渋滞を引き起こしている「松永西踏切」を立体交差化することを強く望んでいる。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	松永西踏切の交通量は、平成6年の9,076台/日から平成11年で9,150台/日へと増加している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在、約0.3 kmを供用しているが、一部の用地取得とJR立体交差部跨線橋を含め約0.7 kmの工事を行なう。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成16年度からJR立体交差部の工事に着手し、平成20年度完了を図る。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わっていない。					
事業概要図	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="width: 25%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p style="text-align: center;">計画交通量</p> <p style="text-align: center;">12,200台/日</p> <hr/> <p style="text-align: center;">評価箇所</p> <div style="background-color: black; width: 20px; height: 10px; margin: 0 auto;"></div> </div> <div style="width: 75%;"> </div> </div>					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

